

法人市民税の更正の請求書

第十号の四様式（第六条の五関係）

<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 受付印 </div> <p style="text-align: center;">令和 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">日向市長様</p>	所在地	
	法人名	
	代表者	Ⓜ
	経理担当者	TEL
地方税法第20条の9の3 地方税法第321条の8の2		
の規定に基づき法人等の市民税について、次のとおり更正の請求をします。		
更正の請求の対象となる事業年度又は連結事業年度	年 月 日から	年 月 日まで
摘 要	更正の請求前	更正の請求後
課税標準等	課税標準となる法人税額	
	分割法人における課税標準額	
税 額 等		
法第20条の9の3第1項の更正の請求の場合	法定納期限	令和 年 月 日
法第20条の9の3第2項の更正の請求の場合	第1号の判決等の確定日	令和 年 月 日
	第2号の更正・決定等のあった日	令和 年 月 日
	第3号の政令で定める理由の生じた日	令和 年 月 日
法第321条の8の2の更正の請求の場合	国の税務官署の更正の通知日	令和 年 月 日
更正の請求をする理由及び請求をするに至った事情の詳細その他参考となるべき事項		
連結親法人の本店所在地及び電話番号	〒	(電話)
(ふりがな) 連結親法人の名称		
更正請求にかかる還付請求額	還付を受けようとする金融機関及び支払い方法	
円	口座番号（普通・当座）No.	銀行 支店

※法人税の額について更正を受けたことに伴い更正の請求をされる場合は法人税額等の更正通知書の写しを添付してください。

第 10 号の 4 様式記載要領

- 1 この請求書は、法人の市町村民税について、法第 20 条の 9 の 3 第 1 項若しくは第 2 項又は第 321 条の 8 の 2 の規定に基づき更正の請求をする場合に使用すること。
- 2 特定信託の受託者である信託業を行う法人が各特定信託の各計算期間の法人税額を課税標準とする市町村民税の法人税割の更正の請求をする場合にあっては、「法人名」の欄には特定信託の名称を併記し、「事業年度」とあるのは「特定信託の計算期間」と読み替えて記載すること。
- 3 この請求書は、更正の請求をする事務所又は事業所所在地の市町村長に 1 通提出すること。
- 4 「課税標準等」の欄には、課税標準及びこれから控除する金額並びに欠損金額等を記載し、「税額等」の欄には、納付すべき税額及びその計算上控除する金額並びに申告書に記載すべき還付金の額に相当する税額及びその計算の基礎となる税額を記載すること。
- 5 「更正の請求をする理由及び請求をするに至った事情の詳細その他参考となるべき事項」の欄には、その理由等を具体的に記載するとともに、課税標準等又は税額等が過大であること等の事実を証する資料（法第 321 条の 8 の 2 の規定に基づき更正の請求をする場合には、法人税の更正通知書写）を添付すること。なお、この更正の請求が租税条約の実施に伴う所得税法、法人税法及び地方税法の特例等に関する法律第 7 条第 1 項に規定する合意に基づく国税通則法第 24 条又は第 26 条の規定による更正に係るものである場合には、当該欄に「租税条約の実施に係るもの」と記載すること。

(昭 57 省令 9・一部改正・平 6 省令 16・一部改正・平 12 省令 52・一部改正)